

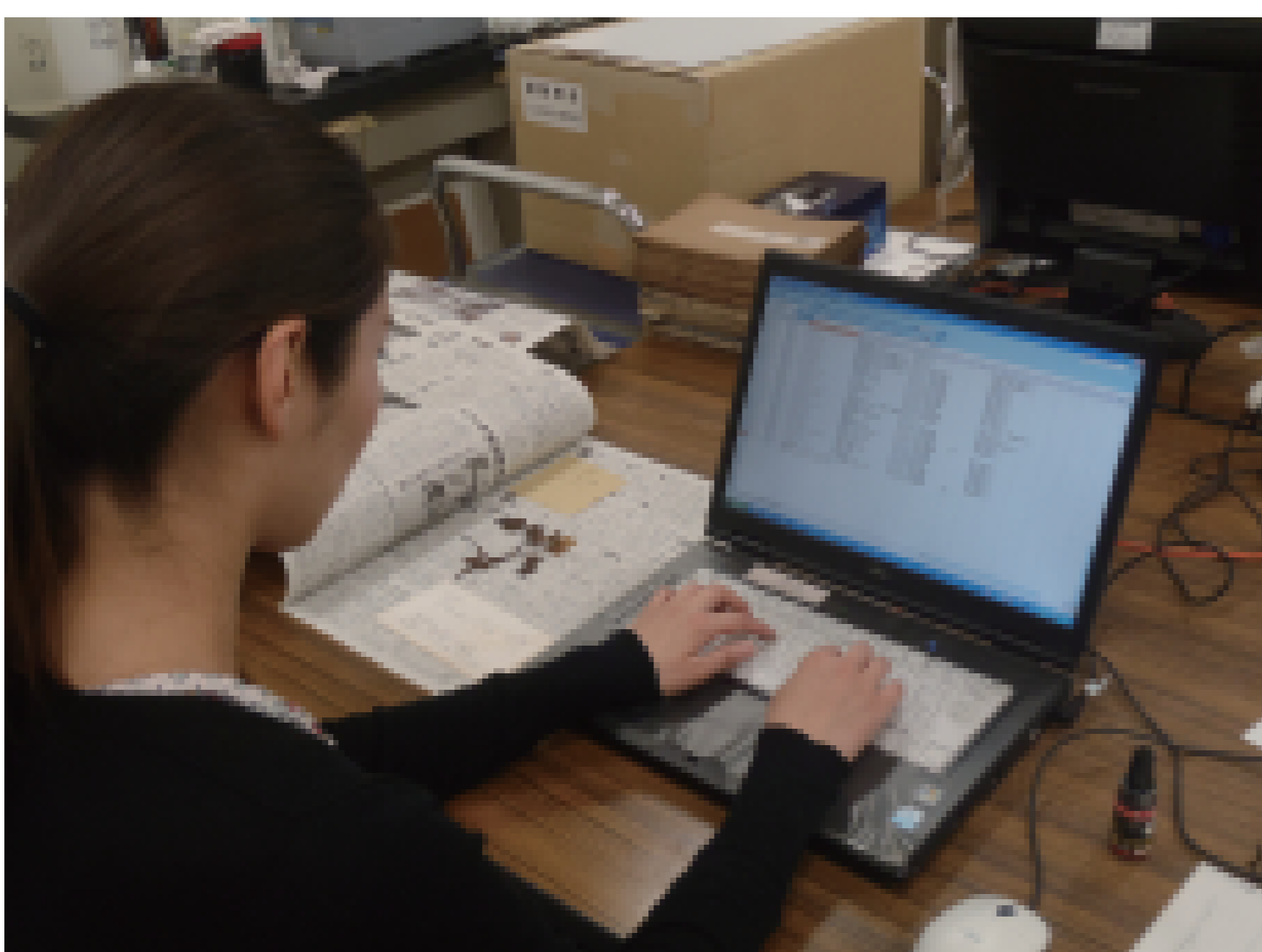
4. 入力・保管

⑩ 残った汚れやカビの除去

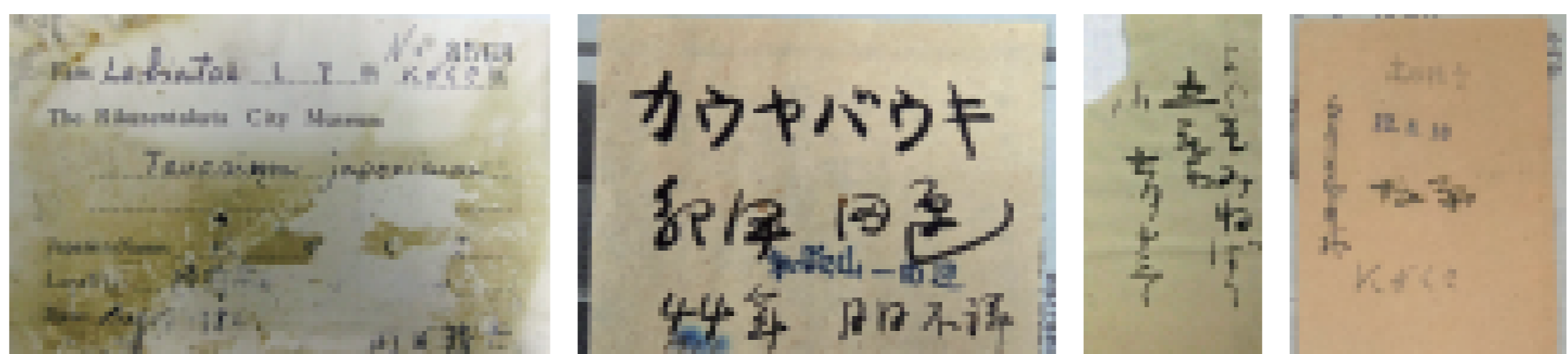


汚れやカビが残っているものは、アルコールでふき取りました。同時に、きちんと乾燥できているか、脱落している葉や実がないかなど、1点ずつチェックしました。

⑪ ラベル情報の入力



採集者、採集地、採集年月日、採集者番号、標本整理番号といったラベル情報をコンピューターで入力しました。ラベルがボロボロになってしまっているものや、達筆で読み辛いものもありましたが、注意深く解読しました。



岩手への返却に向けて

⑫ 修復作業の完了・保管

修復された標本は、植物体と標本ラベルを1枚の新聞紙にはさみ、防虫剤を加えてチャック付のビニール袋で密封しました。

こうして、約1年後の返却時まで大切に保管します。

修復作業の完了した標本を展示していますので、どうぞご覧ください。

